

厚 生 常 任 委 員 会

資 料（補 正）

令和4年3月3日（木）

病 院 局

目 次

【その他報告事項】

- | | | |
|----|----------------------------|-------|
| I | 宮崎県病院事業経営計画２０２１の策定について | … 1 頁 |
| II | 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について | … 4 頁 |

【その他報告事項】

I 宮崎県病院事業経営計画 2021 の策定について

経営管理課

1 策定の趣旨

人口減少や少子高齢化の進展に伴う医療ニーズの変化、労働関係法令の改正による医師への「労働時間の上限規制」の創設など、県立病院を取り巻く環境は大きく変化しており、新たに取り組むべき課題も生じているところである。これまでの成果と課題を踏まえ、社会情勢等の変化にも適切に対応しながら、安定的な経営基盤の上に立って、高度で良質な医療を継続的に提供することを目指し、策定するものである。

2 計画期間

令和3年度～令和7年度（5年間）

3 計画の概要等

(1) 県立病院の使命

全県レベルあるいは地域の中核病院として、経営の健全性を維持しながら、県民に高度で良質な医療を安定的に提供する

(2) 計画の基本目標

① 医療面

県立病院へのニーズに対応した医療機能の一層の充実と地域との連携強化

② 経営面

経営健全化に向けた取組の強化（病院事業全体での資金収支の改善）

(3) 計画の構成

- ・ 「宮崎県病院事業経営計画 2015」の成果と課題
- ・ 県立病院を取り巻く環境の変化
- ・ 県立病院の使命と役割・機能
- ・ 今回計画の基本目標と具体的取組
- ・ 各県立病院の具体的取組
- ・ 今後の経営形態等の在り方

4 病院事業評価委員会・パブリックコメントからの意見への対応

別紙のとおり

(別紙)

宮崎県病院事業経営計画2021（素案）に係る病院事業評価委員会
・パブリックコメントからの意見への対応について

1 宮崎県病院事業評価委員会

(1) 開催概要

令和3年10月14日（新経営計画(2021)策定の趣旨と前回経営計画(2015)の評価）
令和4年1月14日（素案について） ※ 書面開催

(2) 主な意見の要旨と病院局の考え方

No	該当 ページ	意見の要旨	病院局の考え方・計画案への反映状況
1	17P	地域医療に従事する医師のキャリア形成上の不安解消等を目的に創設された「宮崎県キャリア形成プログラム」に係る病院局の取組について記載すべきではないか。	御意見を踏まえ、県立病院が「宮崎県キャリア形成プログラム」対象医療機関として、宮崎大学等と連携し、プログラム適用医師の育成を図ることを盛り込みます。
2	18P	医師の時間外労働上限規制の適用に適切に対応するためには、まずは医師の勤務実態の正確な把握が必要である。また、医師事務作業補助者の拡充と医師の事務作業のタスクシフトの徹底を図る必要があるのではないかと。	御意見を踏まえ、医師の勤務実態の正確な把握に努め、勤務時間の割り振りの見直しや必要な人員体制の確保等について検討を進めます。 また、医師事務作業補助者の体制拡充や、職種間でのタスクシフトの推進について盛り込みます。
3	20P	デジタル化による患者サービスと医療機能の向上を図るため、3病院と宮崎大学等との電子カルテの連携を図るとともに、感染症にかかる来院制限などに対応できるよう、オンライン診療等の機能を導入する必要がある。	御意見を踏まえ、令和6年度の電子カルテシステム更新において、宮崎大学等との画像診断データや検査結果の共有等の機能連携や、オンライン診療等の導入について検討することを盛り込みます。
4	21P	病院全体の医療安全レベルの向上を図るためには、県立3病院間での情報共有が必要と考えるが、具体的な取組を追記してはどうか。	御意見を踏まえ、県立3病院合同での医療安全管理委員会を開催すること等により、病院全体の医療安全レベルの向上を図ることについて盛り込みます。
5	23P	県立3病院で一体となり費用削減に取り組む必要がある。	御意見を踏まえ、費用削減については、県立3病院での取組を一層推進することとし、経営面の具体的取組に係る項目名を変更します。

No	該当 ページ	意見の要旨	病院局の考え方・計画案への反映状況
6	49P	県南地域は高齢化、人口減少が他の地域に先駆けて、進んでいることを実感していることから、環境分析を明確にしていきたい。	御指摘のとおり、県立日南病院をはじめ各県立病院について、環境分析を行い、各圏域の地域医療構想調整会議での協議などを通じて、病院機能や病床数、更には他の医療機関との連携の在り方等について検討することを盛り込みます。

2 パブリックコメント

(1) 募集期間

令和4年1月26日～令和4年2月18日

(2) 意見件数

3件（1名）

(3) 主な意見の要旨と病院局の考え方

No	該当 ページ	意見の要旨	病院局の考え方・計画案への反映状況
1	17P	看護師の医療能力向上を図る一方で、要介護者に対する非医療業務(オムツ交換、入浴作業等)などは介護分野の専門技術（ICTやアシストスーツ等）を導入するなど、負担軽減が必要ではないか。	職員の業務については、デジタル化の推進により標準化・効率化を進め、負担軽減を図ることとしております。 また、看護・介助の負担軽減の御提案につきましましては、高齢化の進展状況を踏まえ、検討してまいります。
2	21P	厚生労働省は「安心・信頼の医療の確保」と「予防の重視」を不可一体と捉えている。県の他部署や市町村との予防医療の面での連携に触れる必要はないか。 また在宅医療についても触れる必要はないか。	御指摘の予防医療や在宅医療の取組については、引き続き各病院に設置している患者支援センターにおいて、地域の医療機関や介護施設等と連携した在宅を含めた医療・介護サービスの提供に努めてまいります。
3	27P	ダヴィンチは専門技術性が高いため、機器に手術のデータ化システムを導入し、多くの医療従事者が学ぶ機会を増やすべきではないか。 また、遠隔プロクタリング手術は行うのか。	御意見のとおり、手術支援ロボット等を用いた先進医療を提供するためには、医師や看護師等の専門的なトレーニングが必要不可欠であることから、積極的な研修派遣等によりスキルアップに取り組んでまいります。 また、遠隔手術については今後研究してまいります。

Ⅱ 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について

経営管理課

1 県立病院におけるこれまでの取組状況

(1) 患者受入状況

(R4. 2. 27現在)

病院名	確保病床数	累計受入数	現在受入数
宮崎病院	7 床 (感染) 10床 (一般) 計 17床	287人	8 人
延岡病院	4 床 (感染) 7 床 (一般) 計 11床	144人	6 人
日南病院	4 床 (感染) 6 床 (一般) 計 10床	84人	6 人
合計	15床 (感染) 23床 (一般) 計 38床	515人	20人

※患者急増時には、病床を追加で確保し、患者の受入れを実施。

(2) 主な取組（第6波関連）

- ① 他の受入医療機関との役割分担のもと、中等症以上の患者や看護必要度の高い患者の積極的な受入れを実施。
- ② 保健所に医師をDMA Tとして派遣し、患者の療養調整に関する支援を実施。
- ③ 新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種会場等において、医師、薬剤師及び看護師がワクチン追加接種業務に従事し、ワクチン接種の早期完了に協力。
- ④ ひまわり荘敷地内に開設された県重症化予防センターにおいて、医師が重症化を予防する中和抗体薬の投与などの医療的措置を実施。

2 今後の対応方針

新型コロナウイルス感染症患者の持続的・安定的な受入れに向けた院内体制を維持しつつ、地域の医療機関とも連携しながら、県立病院が本来担うべき救急医療や高度・急性期医療等との両立を図っていく。